

なのはな

NPO法人 なのはな

◇あおぞらキンダーガーデン

◇まほろば

◇わとと・あおぞら

〒420-0961 静岡市葵区北226-1

TEL/FAX 054-246-2213

E-Mail : aozora@shizuoka.tnc.ne.jp

npo-mahoroba@uv.tnc.ne.jp

URL : <http://www4.tokai.or.jp/nanohana/>

・・出会いの時期(とき)・・

あおぞらは、6月から7月頃、卒園していった親や子ども達と出会う機会があります。

1つは、育てる会の総会です。(卒園した親達の会で、色々な形で園を応援して下さいます。)6月の末に開かれました。会場は「4歳児の自我形成」(ひとなる書房)の本の中で、キティーちゃんのトランクスをはいて子ども達と遊んでくれた大ちゃんのお店です。当日は、大ちゃんを知っている親もいて、とても楽しく実りの多い会となりました。

あおぞらの保育は「思春期を見通して創る」事を大事にしています。

その1つに、今を困らない様にとか今を取り繕うことではなく本音で語り、折り合いを付ける力の育ちがあります。

子どもが本音でぶつかるとエネルギーが高く、とかく大人は大きな声をあげたり、何とかしなくては、と焦りがちですが、卒園生のママ達の話では、そんな時の「子どもと大人の距離の取り方が上手」なのです。言い換えると「今」では無く子どもの「少し先」を見て関わっている姿です。「はじめからそうではなかった」というように、昔と今と何が違うかといえ、ママたちの周りに仲間がたくさんいる姿です。育てる会は、あおぞら流の子育てネットワークなんだなーとママたちの顔を見て感じたものでした。

そしてもう1つ。1年生を呼んでの「カレーパーティー」です。学校が終わり集まる1年生。嬉しくて嬉しくて興奮度100%。この喜びは誰も抑えられません。しばらくすると遊んで、すいか割りをしてスイカを食べながらの子ども井戸端会議。その中にちょっと元気のないKちゃん。「学校楽しい？」の質問に周りは、友達と遊ぶの楽しいというのですが、Kちゃんは、黙っています。そこで「Kちゃんおともだちいないの？」と聞くと「いるもん。遊んでいるときはたのしいもん」ときっぱり言うので、大丈夫かな？と思っていたら1人の子が「先生怖い」と言ったら「先生おこる」とKちゃん。「そうかあー。おこるとこわいんだよね」というとKちゃんニコリ。

そのうち「やさしい」「わるいことするとすぐくこわい」「はじめは怖いと思っていたけどやさしい」という子どもたちと「怖い」「おこるもん」という子どもたちと「半分ずつ」「おこる時とやさしい時とある」という子どもたちと分かれ話が始まったのです。そんな時「分かるよ。自分は、おこられていないけど周りにおこるんでしょう？そうするといやなんだよね」とYちゃん。すると「うん。男の子達おこられる。」とKちゃん。「そうかあ。なぜか男の子達がおこられることが多いんだよねー」というと、この話に盛り上がりました。その後アルバム贈呈式の質問に「困っていること無い」と言い切ったKちゃん。「解決はできないけれど分かってくれる人」がいて心が元気になったのしょうね。猛暑で心にカビが生えそうですが、こうした出会いがあると幸せになれます。

暑い夏、乗り切っていけそうです。親たち子どもたちにありがとう。

(おか)

あおぞらだより

小学校3年生になる卒園生のお母さんより、園に嬉しい手紙が届きました。
2年前 奄美大島へ引っ越しとなった御家族です。

先日、こんな出来事があり、お伝えしたくペンを執りました。
奄美大島では、4月中旬くらいから夏時間になり、子どもたちは5時50分まで外で遊べます。
(この時間に帰宅の放送がかかります。)
洗は、この日も時間ギリギリまで遊び、帰宅後、すぐお風呂に入り、出てきた時・・・
ベランダから爽やかな風が吹き、洗も私もとても気持ち良くなりました。
すると、洗が・・・“この風、あの時の風に似ているよ”と。
話を聞くと、たいようさんの時、みんなで温泉へ行って、お風呂から出て帰る時に吹いていた風だと。
それから、その日幼稚園に泊まった時の話を“なつかしい〜”と話してくれ、いつかあの温泉と一緒に
行こう。などと続けました。
こんな風に、幼稚園時代のことをふとしたきっかけで思い出し、話すと、とても幸せな気持ちになります。
いい経験をいっぱいさせてもらったんだな。とあらためて思い、感謝の気持ちでいっぱいになります。

新しい生活の中でも、ふと幼児時代を思い出して語ってくれていること、大変嬉しく読ませて頂きました。
そして先月26日には、卒園生の父母を中心に活動して下さっているあおぞらキンダーガーデン育てる会の
総会が行われました。

なつかしい顔ぶれや大きくなった卒園生たちの近況を聞くことができ、参加した職員も元気をもらえる会と
なり、卒園してからも応援し支えて下さっている「育てる会」へ心より感謝です。

(ゆうこ)

まほろばの部屋から

<雨の日>

雨の日の通園はたいへんです。

自転車ではあつという間の距離も、雨の日の歩きは3倍はかかります。

カサさして、カッパきて、長靴をはいた3歳の息子はとても楽しそうです。

それはいいのですが、そんなに時間はかけられないんです。

「はやく歩いて」

「カサ、ちゃんとささないでぬれちゃうよ」

ついつい口数の多くなってしまふ母です。

息子から「ぼくのすきにさせてよ」と言われてしまいました。

「すみません」

でも、このままでは母は仕事に遅れてしまいます。

(あきこ)

わとと・あおぞら

最近のわととは、利用者さんが新しいお友だちを連れてきてくれて、そのお母さんたちがわととで親子を通して繋がってくれたいる姿がたくさん見られます。

いつも午後にはいらっしゃる利用者さんが1人で遊んでいて、他のママたちのお話を聞いて

「私もいいですか？」と声をかけると、そのママたちが両手を広げて、

「私たちオープンだから、いつでも入ってきていいよ。」

「こうしていつでも両手広げて待っているのになかなか入ってきてくれないんだよねー」

「だからいつでもOKよ」

とっていて、利用者さんも仲間入り、とってもニコニコ顔で会話も弾みつながっていましたよ。

その次に来た日も、そのママたちと待ち合わせして来て下さいました。

大人も子どもも、本当はみーんなで繋がっているんな話をしたり、遊んだりしていたんだよなあ。とっても微笑ましい姿でした。

これからもいっぱいつながっていきますように・・・♡

(みなこ)

友達と見る絵本



とうさんまいご / 偕成社 五味太郎 作・絵

おとうさんがまいごになっちゃった!?これがおもしろい。
この靴は・・・あの帽子は・・・と
お父さんを探すけど なんだかちがう。
次のページをめくるのが、たのしみになるしかけ絵本です。

にじさんで読むと、お父さんではない姿に ニコニコ。

「あはははは」と声をあげて笑うよ。

2人が会えると「よかったね～」と一安心。

迷子になったことがある子は ちょっとドキドキかな?

何度もリクエストされる大好きな絵本です。

「ぼくがみつけるから だいじょうぶさ!」なんてステキ!

このセリフに心があつくなりますよ。

(あやこ)

～6月より島田市で開講します～

「子どもたちが、その子らしく生きていけるように・・・

ありのままの自分でいられるように・・・」と願って

* ^あまんま有る・・・その子がもともと持っているもの・・・性格、個性、特性などそのまんまを認め、その子の得意なところを生かしてさらに可能性を伸ばしたい。

* ^あまんま在る・・・その子がその子らしく存在していただけるということを大切にしたい。

寺子屋 まんまある

「寺子屋 まんまある」は、小学生は算数、中学生は数学と英語を中心にした学習を支援するとともに、集中しにくい・落ち着きがない・自分の世界に入りやすい・コミュニケーションが苦手など、気になる点も合わせて支援していく教室です。

～発達支援事業まほろば～